

山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター主催 第5回緩和ケア看護師教育プログラム開催報告

緩和ケアセンター事務局

令和3年6月12日～6月21日の10日間の視聴期間を設け、山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター主催第5回緩和ケア看護師教育プログラムを、Webで開催しました。

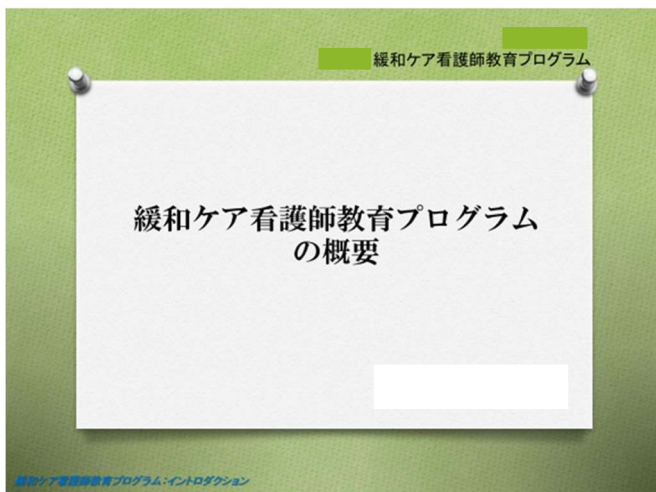
緩和ケア看護師教育プログラムとは、緩和ケアを担う看護師を育成するために日本看護協会が作成した「看護師に対する緩和ケア教育テキスト」に基づいた緩和ケアの基礎について学ぶ教育プログラムです。

本来は、山口大学医学部附属病院を会場として、講義だけではなく、グループで行う事例検討、3人で看護師、患者、観察者役を交替で演じるロールプレイを行います。この度は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み現地での開催を中止し、参加者を院内に所属する経験年数1年以上の看護師とし、講義をWeb形式で開催いたしました。

院内の専門・認定看護師3名を講師として、修了者は20名となりました。

研修終了後のアンケートでは、「具体的なコミュニケーションの方法や声掛けも内容に入っており、日ごろの関りに活かしてみたいと思います。」「図や症例を用いてわかりやすく工夫されており、興味を持ったり、何度も繰り返し学習していく上で役立つものであった。」「緩和ケアの基本から連携方法まで詳しく資料があり、わかりやすい講義であり、大変興味を持って、勉強になりました。今年度は緩和ケアリンクナースとなり、学んだことを活かして日々看護していきます。」など多くの意見が寄せられ、有意義な研修となり無事修了することが出来ました。

本プログラムは来年も開催予定です。より多くの皆様のご参加をお待ちしております。



緩和ケア看護師教育プログラムの構成

- イントロダクション 【5分】
- M1: 緩和ケアの概要 【10分】
- M2: 意思決定支援 【60分】
- M3-1: 苦痛緩和(疼痛) 【45分】
- M3-2: 苦痛緩和(疼痛以外の症状) 【60分】
- M4: 専門家への橋渡し・連携 【50分】
- まとめ

